

海況速報

平成元年度 第2号 (No. 8)

平成1年6月22日

北海道立水産試験場

5月下旬～6月中旬の海況

[日本海域]

表面水温は、道北海域では9～12℃、道央海域では10～13℃、道南の津軽海峡西口沖では14～15℃を示しています。昨年と比較すると、ほぼ昨年並ですが、北部海域ではやや高めとなっています。

中・下層水温は道央海域を中心に、全般的に昨年よりかなり高めであり、海域によっては2～3℃以上高くなっています。しかし、100m層の積丹半島北西沖と雄冬岬沖では低温水が南下していて、低めとなっています。

[オホーツク海域]

表面水温は、一部10℃以上(～12℃台まで)に昇温している海域もみられますが、大部分は6～9℃台を示しています。

表層、中・下層とも全般的に水温は昨年よりかなり高めとなっています。沖合域中・下層の寒冷水の分布範囲も全般に例年より小さくなっています。しかし、50m層で、紋別付近では中冷水の接岸度合いが昨年より強く、網走沖沿岸域には中冷水がとり残されているなど、冷たくなっている海域もみられました。

[太平洋海域]

道東海域の表面水温は3～7℃で、昨年に比べるとかなり低めで低水温を示しているのが特徴的です。中・下層でも沖合域を中心に昨年よりはかなり低めの水温となっており、暖水の北上は非常に弱くなっています。

道南太平洋海域の表面水温は日高海域寄りほど、昨年より低めとなっています。津軽海峡東口では10℃以上ですが、日高沿岸では5℃台という低水温を示しており、親潮系水の影響が強くなっています。中・下層水温も日高沿岸域では昨年より冷たくなっています。

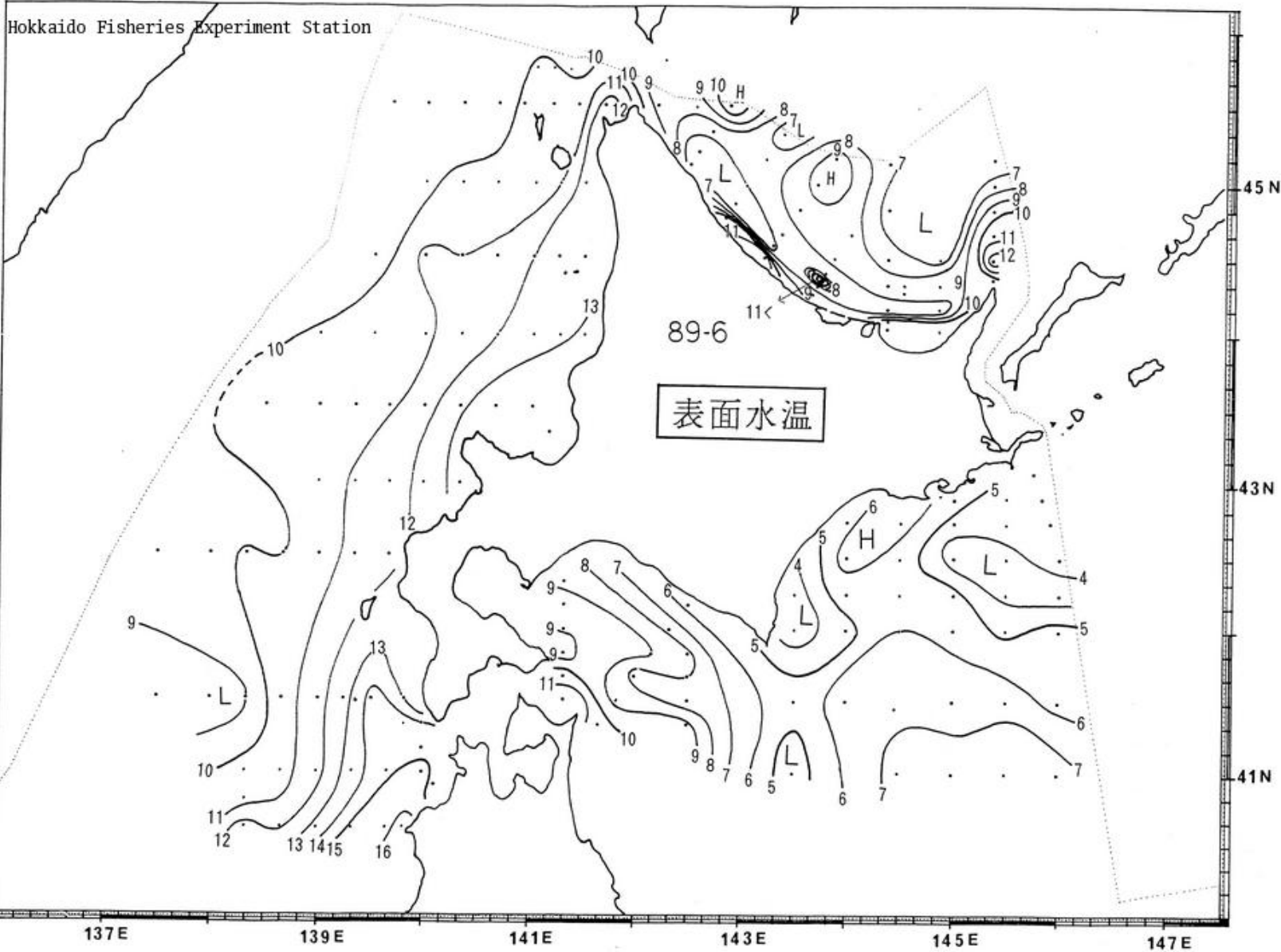
しかし、津軽海峡東口では昨年並の水温で、中央部の海域ではむしろ昨年より高めとなっています。

資料 [観測期間]

稚内水試(北洋丸)	6. 12-15 (オホーツク海域)
夕	6. 5-7 (道北日本海域)
網路水試(北辰丸)	5. 20-25 (道東太平洋海域)
函館水試(金星丸)	5. 29-31 (道南夕)
中央水試(おやしお丸)	6. 5-13 (道央～道南日本海域)
青森水試(青鷗丸)	5. 29-30 (日本海域)

(中央水試 海洋部)

Hokkaido Fisheries Experiment Station



表面水温

89-6

11<

137E

139E

141E

143E

145E

147E

45N

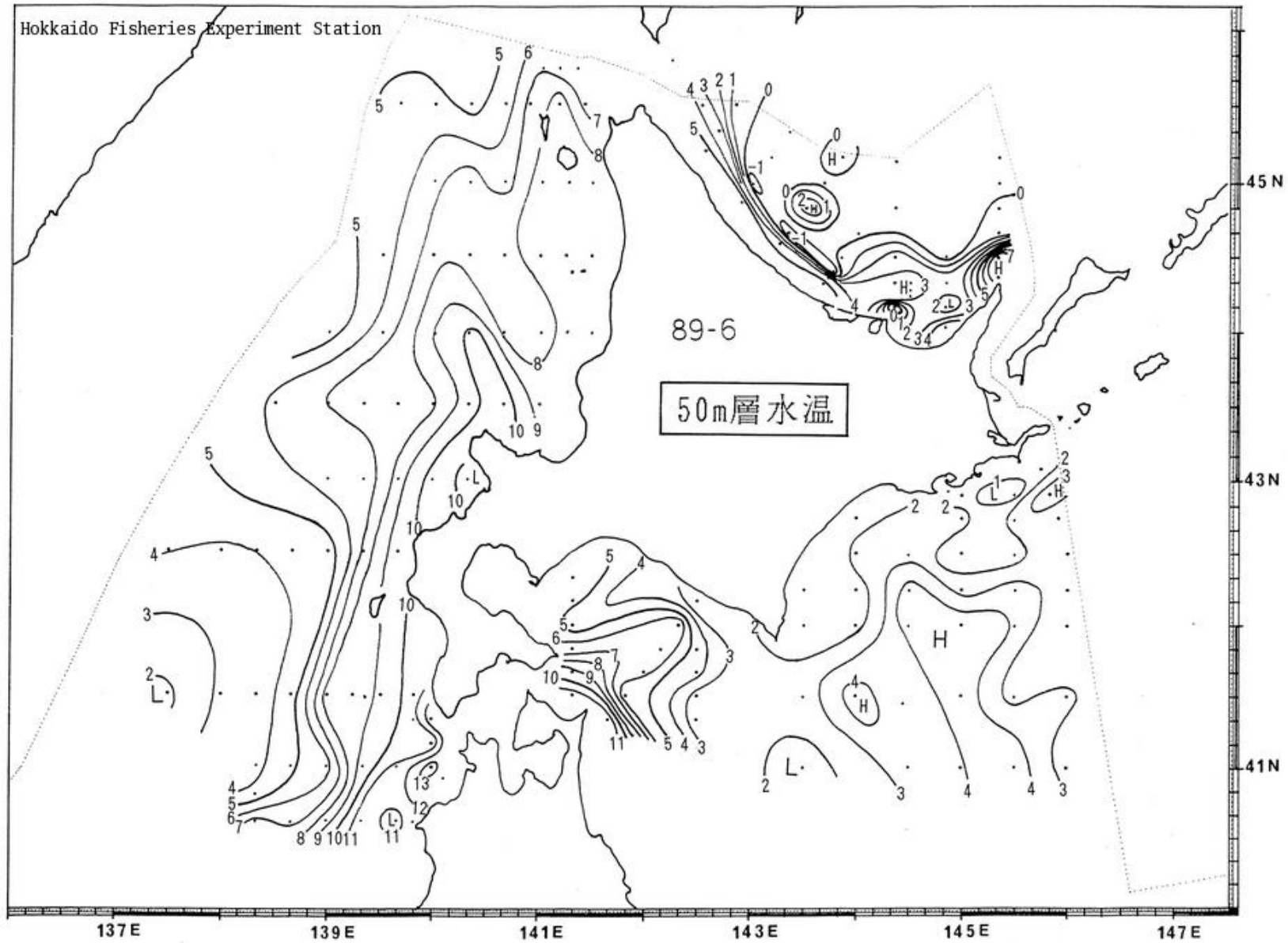
43N

41N

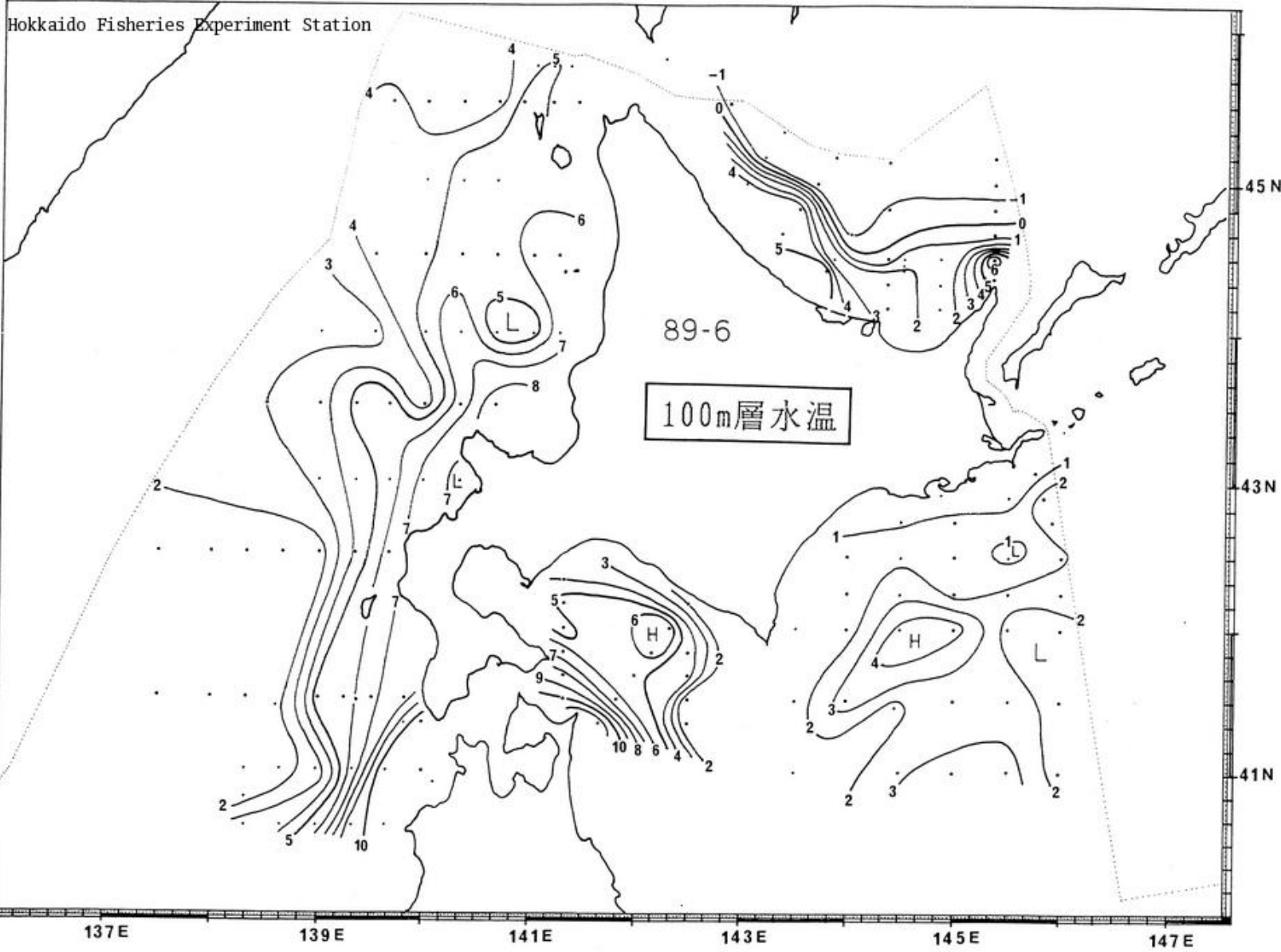
Hokkaido Fisheries Experiment Station

89-6

50m層水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station



89-6

100m層水温

137 E

139 E

141 E

143 E

145 E

147 E

45 N

43 N

41 N